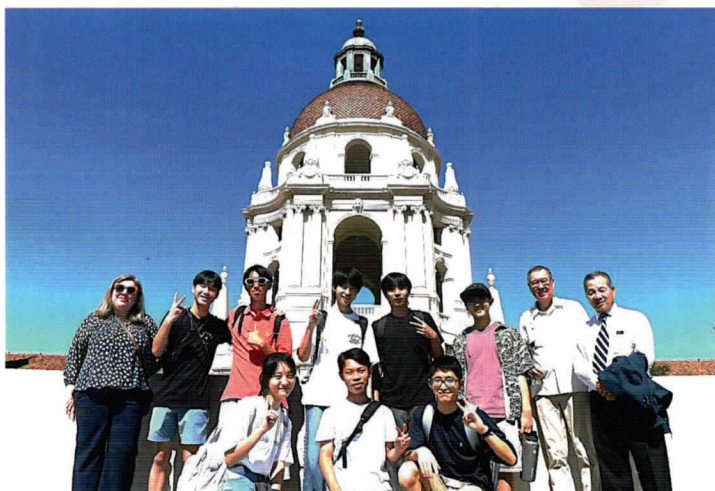


フレンドシップ2026

中高生5人がパサディナ訪問



パサディナ市役所の庁舎にて

アメリカの姉妹都市カリフォルニア州パサディナ市との間で、隔年で相互に学生の派遣をおこなっている「フレンドシップ」事業。今年は、7月30日～8月5日の日程で、中高生5人を派遣しました。2025年に同プログラムで来島した学生のご家庭などにホームステイをしながら、数日間のアメリカの夏を満喫しました。初めのうちは不安と緊張がいっぱいでしたが、ホストファミリーの皆さんやパサディナの方々の温かいもてなしを受けるうちに打ち解け、アメリカのハンバーガーの大きさにびっくりしながらも、文化や習慣の違いを超えて様々なことに挑戦することの大切さを学びました。



ドジャースタジアムでは、レッドソックス戦を観戦



消防署では、昨年の山火事の様子を伺いました

主な日程	
7月30日	羽田空港発/ロサンゼルス国際空港着
7月31日	パサディナ市庁舎、パサディナ消防署訪問
8月1日	ホストファミリープログラム
8月2日	ドジャースタジアム
8月3日	ディズニーランド
8月4日	ロサンゼルス国際空港発
8月5日	帰国

参加者名(敬称略)	
井原 彩葉	県立葦山高校 1年
岩澤 佑樹	桐陽高校 1年
上坂 望	市立山田中学校 3年
嘉山 怜桜	沼津工業高等専門学校 1年
横田 直紀	市立北中学校 3年
山崎 賀功	指導員(三島市防犯・地域交通係)
久保寺 美紀	指導員(三島市国際交流室)

北中で 国際理解教育・出前講座開催



講師の劉以涵さん(左)とSirapatsonさんの理解を深めました。

7月2日、市立北中学校で、タイのSirapatsonさんと台湾の劉以涵さんを招き出前講座が開催されました。今回は初の試みとして「食を通して理解を深めよう」と給食をいただきながらの交流で、生徒たちはタイのガパオライスや春雨サラダ、野菜スープ等をいただきました。また、それぞれの国のジャンケンゲームで楽しいひと時を過ごし、食やゲームを通して他国へ



食でつなく国際交流

～コロンビア料理を作ろう～開催

8月1日(土)生涯学習センター料理講習室で、「食でつながる国際交流～コロンビア料理を作ろう～」を開催しました。コロンビア出身のウルタドさんご家族を講師に迎え、ミャンマーの実習生や学生ボランティアなど、幅広い世代の20人が参加しました。

会では、鶏肉を玉ねぎ、長ねぎ、トマト、パプリカ、にんにくなどと一緒にカレー風味で煮込む家庭料理「スダド」をはじめ、コーヒームース、パッションフルーツジュースを作りました。ウルタドさんの丁寧な説明をお聞きしながら、参加者同士で協力して調理し、どの料理もおいしく完成。暑い国・コロンビアならではの、夏にぴったりのメニューを囲み、国籍や世代を超えて会話と笑顔が広がる、心温まる交流のひとつとなりました。調理の様子は、右のQRコードからご覧になれます。



夏期語学講座開講

韓国語・中国語・スペイン語

毎年恒例の夏期語学講座の開講式が、7月3日、三島市民生涯学習センターにておこなわれました。講座は、韓国語、中国語、スペイン語の3カ国語。韓国語の山崎友希先生、中国語の李寧先生、スペイン語の天座原ケイラ先生のもと、全12回の開催です。今回もたくさんの受講者で、協会の平出会長からは「この講座が皆さんの興味のある外国語習得の入り口として、次のステップに進むきっかけにしていきたい」との挨拶がありました。

 韓国語



山崎先生

 中国語



李先生

 スペイン語



ケイラ先生

JICA青年海外協力隊 佐野^{あや}文^み美さん 市長表敬訪問

JICA（独立行政法人国際協力機構）の青年海外協力隊として、マレーシアのサラワク州クチンに派遣される三島市在住の佐野文美さんが、7月6日、豊岡武士市長を表敬訪問しました。派遣先のサワラク州特別支援教育サービスセンターでは、センターの職員に、自らの沼津特別支援学校勤務で得た経験を共有し、効果的な教材の紹介や実践を通して、障害児・者の支援活動をサポートします。9月に出発し、2028年3月まで1年半滞在する予定です。

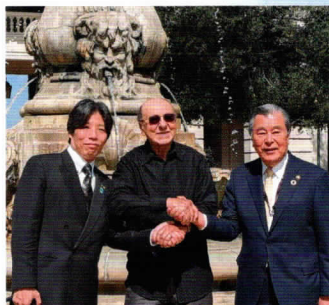


佐野文美さん

パサディナ市・麗水市を公式訪問

1957(昭和32)年に海外都市との姉妹都市提携では日本で4番目という早さで締結した米国カリフォルニア州・パサディナ市、また、1997(平成9)年に「水と緑」という自然環境が類似していることが縁となり、友好都市提携をおこなった中国浙江省・麗水市。ともに来年70周年、30周年という節目を迎えることから、長きにわたる歴史を築き上げた先人の方々に感謝し、両市の更なる交流を深めることを目的に、5月には豊岡武士市長がパサディナ市を、8月には鈴木昭彦副市長が麗水市を公式訪問しました。

パサディナ市では、ヴィクター・ゴルドー市長とお会いし、三島市長から、長きにわたる友好と信頼の絆に感謝の意を表し、両市の末永い友好関係が続くことを願う旨の感謝状をお渡ししました。また、先の山火事の現地視察を行うとともに、パサディナ警察及びパサディナ消防署を訪問し、発災当時の緊迫した状況や消火活動、被災者支援などについて、直接お話を伺いました。



右から豊岡武士三島市長、
ナット・ネイダーパサディナ国際協会会長、
原国太郎MIRA都市交流副委員長



ゴルドー市長(中央)を囲んで、公式訪問団

麗水市では、鈴木副市長を団長とし、平出利之国際交流協会会長他11名の公式訪問団が市政府を訪れ、周和平副市長と今後とも増々の友好親善を深めることを確認しました。

公式訪問団の日程にあわせて麗水市を訪問した、静岡県中国武術協会理事・自強武術館代表の桐山賢信さん率いる29名の武術交流団は、中日双方の演者100名による太極拳で親交を深めました。



麗水市庁舎前にて、公式訪問団



武術交流団

ニュージーランドから

ニュープリマス・ボーイズ・ハイスクールの教師来島

三島市の姉妹都市、ニュージーランド・ニュープリマスから6月2日から4日にかけて、ニュープリマス・ボーイズ・ハイスクールのサム・ムーア校長、ヒュー・ラッセル教頭、タニア・ムーア教諭の3人が来島しました。初日は、加藤学園暁秀中学校・高等学校を訪問。翌日は、日本大学三島中学校・高等学校を訪問予定でしたが、生憎、台風の影響で学校が休校となってしまう、残念ながら中止。市内散策などで「水の都・三島」を楽しんでもらうとともに、市職員や協会会員と交流しました。



James Molloy - MIRA Newsletter #48

J I M のみしまものがたり ④⑧

夏の陽射しの陰で

三嶋大祭りが終わったばかりのこの時期、今年最後のかき氷をもう味わったという方も多いのではないのでしょうか。そこでまず、簡単な質問から始めさせてください。これまでで一番美味しかった



かき氷を思い出してみてください。それはどこで、どんな味だったのでしょうか。初めてのブルーハワイだったかもしれませんし、あるいは濃厚なほうじ茶ミルクだったかもしれません。

みなさん、千年以上も前からこのお菓子が存在していたということはご存知でしたか。うだるように暑い夏の午後、ふと「昔の人々はどうやって夏を乗り切っていたのだろう」と考えたことがきっかけで、私は昔の日本における氷と冷たいお菓子の物語にたどり着きました。

かき氷についての最古の記述は、清少納言の『枕草子』に見られます。そこには、蔓草(つるくさ)の樹液を煮詰めて作った甘葛(あまづら)という甘い汁をかけた削り氷を、磨き上げた金属の器に盛ったものが、彼女の考えるもっとも上品なものの一つとして挙げられています。当時、そのような贅沢を味わえたのは貴族だけで、氷は前の冬に氷室へ貯えられたものを、毎年夏に取り出して使っていました。

現在の石川県にあたる加賀藩は、この夏の楽しみのためだけに、江戸時代でも屈指の見事な運搬の仕組みを築き上げていました。毎年冬になると、人々は氷室に雪を詰め込み、旧暦6月1日にそれを掘り出して、およそ480キロメートル離れた江戸まで運びました。加賀飛脚と呼ばれる特別な飛脚の団が、一日およそ120キロメートルという速さで進み、わずか4日間でこの道のりを走り抜けたのです。金沢では今でも、毎年7月1日になると、当時ほとんどの人が口にする事のなかったその氷の代わりに「氷室饅頭」を食べる習慣が残っています。

もっと身近な話をすれば、1861年、中川嘉兵衛は富士山の斜面から100トンの氷を切り出し、おがくずに包んで帆船で横浜まで運びましたが、無事に届いたのはわずか8トンでした。それでも氷の商売で成功しようと諦めなかった彼は、諏訪湖でも、日光でも、釜石でも失敗を重ね、ついに1869年、函館でその成功をつかみました。同じ年、日本初の氷店が横浜に開業しました。そこでは牛乳、卵、砂糖から作られる高級な「あいすくりん」が売られ、その一杯の値段は当時の大工の日当ほどに相当したといえます。

さて、最初の問いに戻しましょう。あなたがこれまでに食べた一番のかき氷は何でしたか。私自身はカナダのメープルタフィー*を食べたことはありませんが、三島の山田園で味わったほうじ



茶ミルクだと答えます。ありがたいことに、私たちはもう、加賀から箱根を越えて三島宿まで氷が運ばれてくるのを待つ必要はありません。そして何より、氷はもう法外な値段ではなくなりました。今はただ、夏の陽射しの陰に腰を下ろして、味わうだけでいいのです。

* カナダならではの一風変わったかき氷を味わいたいなら、ケベックまで足を延ばして「メープルタフィー」を試してください。煮えたぎるメープルシロップを降り積もったばかりの雪の上に注ぎ、木の棒に巻き取って食べる、もちもちとした冬の味覚です。これほどカナダらしいものが他にあるでしょうか。



せかいをつなぐ
心をつなぐ
三島市国際交流協会

申込み・問合せ

★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
★ 三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ